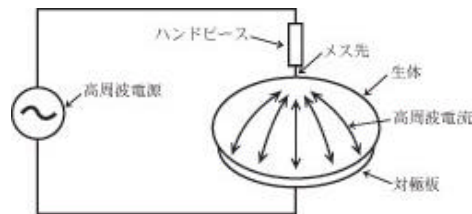


外科学に関する設問に答えなさい。

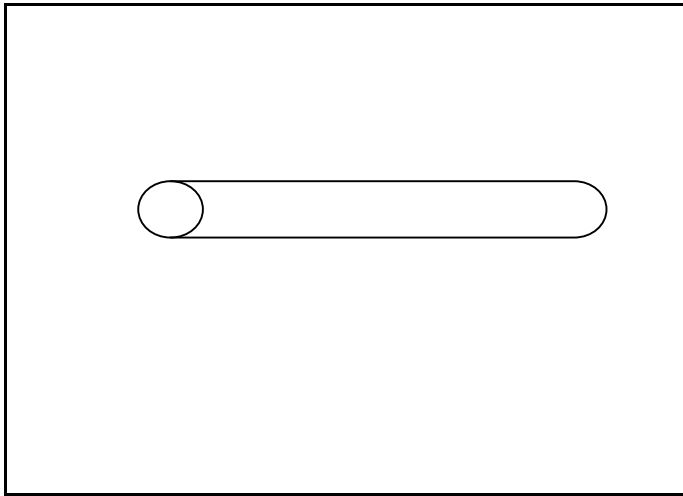
- 1 創傷治癒について、正しいものに○、誤っているものに×、をいれなさい。
(1) 死腔 (dead space) は、創傷治癒遷延の原因となる ()
(2) 壊死組織のデブリドマンは、創傷治癒を遅らせる。 ()
(3) 開放創の洗浄には、生理食塩水は用いない。 ()
(4) 創の感染には、組織の血行は関係がない。 ()
(5) 感染創は、縫合して一次治癒とする。 ()
- 2 経管栄養の適応とならないのはどれか。 ()
(1) 短腸症候群
(2) Crohn病
(3) 潰瘍性大腸炎
(4) 腸閉塞
(5) 神経性食思不振症
- 3 開腹手術後の術後合併症で敗血症性ショックをきたしやすいのはどれか。 () ()
(1) 急性胃拡張
(2) 麻痺性イレウス
(3) 消化管縫合不全
(4) 肝膿瘍
(5) 術後肺炎
- 4 電気メスについての説明文を読んで、設問に答えなさい。

電気メスは、生体を負荷として高周波電流を流して、このときの負荷もしくは接触抵抗に発生する熱を利用して、切開を行うものです。
広い面積で装着される電極 (生体に貼り付けた対極板) とメス先電極 (能動電極、針電極) を対にして、高周波電流を生体に通じさせます。
これにより接触抵抗が小さく流れる電流密度の低い対極板側では熱は発生せず、接触抵抗が高く電流密度の高いメス先電極側ではジュール熱やアーク放電により熱を生じます。この熱が瞬時に細胞を過熱し爆発・散逸させ切開作用を生じさせます。



電気メスは、通常メスに比べると、出血量を少なくすることができる。
なぜ、そのような効果があるのか、説明しなさい。

- 5 癌の手術中、癌腫瘍を周囲から剥離中に、以下のような、動脈と思われる血管を発見した。腫瘍を摘出するためには、この血管を切断しなければならない。出血量をできるだけ少なく、安全に行うためには、どのような手順で、この血管を切断すればよいか、その手順を説明しなさい。
なお、語群にある器具以外は用いることができない。



語群
外科用系
はさみ
ピンセット

乳腺疾患に関する設問に答えなさい。

- 1 乳癌について正しいものはどれか。 ()
 (1) 30 40歳代の閉経前期の女性に最も多い。
 (2) えくぼ徴候 (dimpling sign)は皮膚浸潤の所見である。
 (3) エストロゲンレセプター陽性例は陰性例に比べて、予後良好である。
 (4) 内側上1/4円 (A領域)に最も多く発生する。
 (5) 炎症性乳癌は乳癌に細菌感染が加わったものである。
- 2 乳頭のびらんを来すのはどれか。 ()
 (1) Paget病
 (2) 乳腺線維腫
 (3) 乳管内乳頭腫
 (4) 乳腺症
 (5) 女性化乳房症
- 3 以下の項目のうち、乳腺症にあてはまるものにA,線維腺腫にあてはまるものにB,乳癌にあてはまるものにCをいれなさい。
 (1) 乳頭からの分泌物が認められることは稀である。 ()
 (2) 腫瘍は、境界鮮明であることが多い。 ()
 (3) 通常、両側性に認められる。 ()
 (4) 通常、多発性に認められる。 ()
 (5) 腫瘍には、圧痛が認められることが多い ()
 (6) 腫瘍は、可動性に乏しいことが多い。 ()
 (7) 閉経後の女性にも認められることが多い。 ()
 (8) 皮膚に変化が認められることがある。 ()
- 4  がん抑制因子はどれか。 (第100回医師国家試験) ()
 (1) bcl-2
 (2) c-myc
 (3) erbB-2
 (4) K-ras
 (5) Rb

- 5 乳癌の治療について正しいのはどれか。 ()
- (1) 乳房温存手術の適応は腫瘍径1cm以下のものである。
 - (2) 胸筋温存乳房切除術後の重要な合併症として患側上肢の浮腫がある。
 - (3) Auchincloss手術とは乳房切除 + 小胸筋切除 + 腋窩リンパ節郭清である。
 - (4) 腋窩リンパ節転移例では術後抗癌剤投与の効果は少ない。
 - (5) エストロゲン受容体陰性例には抗エストロゲン薬の効果は期待できる。
- 6 乳癌の臨床所見で、えくぼサインは、なぜ、みとめらるのか、説明しなさい。

症例を読んで、設問に答えなさい。

- 1 51歳の女性。直腸癌の手術の翌日、歩行を始めたところ、突然、胸痛と動悸を訴えた。意識は清明。身長161cm、体重75kg。呼吸数 28/分、脈拍 112/分整。血圧 98/76mmHg。顔面蒼白で苦悶状である。

まず、行う検査としてはどれか、2つ選びなさい。 () ()

- (1) 呼吸機能検査
 - (2) 動脈血ガス分析
 - (3) 腹部超音波検査
 - (4) 胸部造影CT検査
 - (5) 頭部MRI検査
- 2 56歳の女性。入浴時、右乳房に腫瘤を触知したため来院した。右乳房外側上部に径2cm大の腫瘤を触知する。乳腺超音波検査、乳房X線単純撮影 (マンモグラフィー) にて悪性腫瘍が疑われた。

次に行う検査として適切なのはどれか。 ()

- (1) 胸部CT検査
 - (2) 針生検
 - (3) 摘出生検
 - (4) 胸部MRI検査
 - (5) 吸引細胞診
- 3 45歳の女性。検診マンモグラフィーにて左乳房の石灰化を指摘されたため来院した。腫瘤は触知しない。乳頭と皮膚とに陥凹はなく、えくぼ徴候(dimpling sign)も認めない。左腋窩リンパ節は触知しない。マンモグラフィーの石灰化と一致する部位に、超音波検査で低エコー域が認められた。吸引細胞診の結果は非浸潤性乳管癌であった。

治療として適切なのはどれか。 ()

- (1) 手術
- (2) 放射線療法
- (3) 抗癌化学療法
- (4) ホルモン療法
- (5) 免疫療法

